



自己紹介

平成9年4月から、仙台市南隣の名取市担当・行政相談委員を務めて参りました。この期間中、地域の行政相談委員として「常に公正・中立な立場」を忘れず、また「真摯に心を込めて」相談者の苦情内容と向き合っ、誠意に対応するようしております。

今、思うこと

ここ数年間を振り返りますと、震災復興事業に地域の皆様と全力で取り組んで、なんとか心豊かで円熟味のある社会構築に努力して参りました。しかし急激に進む人口減少化に伴い新たなる各種の深刻な問題が生活の実態として浮き彫りになっております。

地方都市でも高齢者の一人暮らし世帯が急増し、デジタル化やAI技術が進んでも孤独で「人間味のある、話し相手がほしい」という精神的な心のケア問題は急増し、大きくクローズアップされていくものとの感想を持っております。

デジタル社会に向けた委員活動への所感

国全体が進めるデジタル化推進の流れを踏まえ、行政相談委員制度の苦情受付体制を、各住民の方々に少しでも使い勝手の良い制度に改革推進していく必要性があります。

制度設立60周年を迎え、今後は対面での相談と同等に時代に合った「人に優しいデジタル相談」を目指し、「人間味のある対応」に配慮しながら住民が抱えている苦情の解決に向け精一杯お役に立ちたいと考えております。

お困りごとがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

あべ せいき

名取市担当行政相談委員 阿部 清基



名取市の方々へ
阿部委員への相談については、
「きくみみ宮城」までご連絡ください。



行政相談パネル展の開設の様子（名取市）